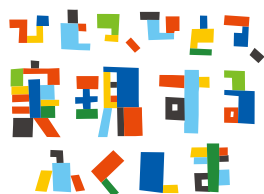


ふくしまで、
教えよう。



2024 年度 福島県公立学校教員採用案内

Together

福島県教育委員会

ふくしまで、
学ぼう。

ふくしまで、
先生になろう。



新任教員から
Message
MOVIE 公開中



「子どもたちの未来は、ふくしまの未来」。



新任教員から
Message

小学校教諭 Elementary school

先生方からの励ましの言葉や助言、
子どもたちの笑顔と成長に
毎日元気をもらっています。

My step!



南相馬市立太田小学校
教諭 志賀 月海

◎福島県の教員を志願した理由は？

生まれ育った福島県に貢献できることはないか考えた時、教員という仕事が頭に浮かびました。これまで出会った先生や友だちに恵まれていたのだと思います。また、本県の教育では、東日本大震災・原子力災害の教訓の継承も行っています。小学校4年生の時被災した私だからこそ、福島県の教育のためにできることがあると思いました。

◎教員という仕事の魅力は？

子どもたちの成長を間近で感じられることが最大の魅力だと思います。特に、小学校の教員



は自分の学級を持つため、1年の大半を同じ子どもたちと過ごします。学級経営や学習指導など悩むことも多いですが、できなかったことができるようになった子どもたちの喜ぶ姿を見ると、自分のことのようにうれしくなります。

◎子どもたちとの関わりを通して喜びを感じた瞬間は？

子どもたちの「できた!」「わかった!」に出会った時、教員になって良かったと幸せを感じます。教職は、常に人と関わる仕事のため、思うようにいかず失敗から学ぶことも多くあります。しかし、他の先生方からの励ましの言葉や助言、子どもたちの笑顔と成長に毎日元気をもらっています。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

小規模校、少人数校ならではの教育を実践していること、地域の方と一緒にいう行事がたくさんあることです。1学級の人数が少ないため、より個に応じた指導や支援を行うことができます。また、地域との関わりを通して、地域の方々と共に子どもたち一人一人の学びや成長を支えていると日々実感することができます。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

教育を通して福島県に貢献できること、福島未来を担う子どもと共に成長できることが、福島県の教員としてのやりがいだと思います。私が担任をしている子どもは複数いますが、子どもたちにとっての私は一人の先生です。高い専門性と福島らしさを生かした教育を行い、子どもたちのために常に学び続ける教員でありたいです。

◎福島県の教員を目指す人へ一言!

子どもたちの未来のために、教員としての一歩を踏み出しましょう。

先生が笑っていると、子どもたちも笑顔になる。

先生が頑張っていると、子どもたちも一生懸命になる。

小学校も、中学校も、高等学校も、特別支援学校も、子どもたちの未来をつくるのはいつだって先生。

ふくしまの新たな未来をつくる、子どもたちの未来を共に作りませんか。



の中でも、何度も子どもたちの成長を目の当たりにしました。昨日まで苦手だったことが、ある日得意なことになったり、避けていたことに挑戦したり、そんな子どもたちの成長に関われることは、教員の魅力だと思います。

◎子どもたちとの関わりを通して喜びを感じた瞬間は？

授業の中で、生徒から「分かった！」と言われた時に喜びを感じます。子どもたちの実態を踏まえ、どうアプローチをすれば分かりやすいか、授業のねらいが達成できるのかを考えながら教えています。授業の準備は大変なこともありますが、生徒の「分かった！」を聞くことができると、全て報われたような気持ちになります。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

本校は会津若松市で最も大きい中学校です。生徒たちは個性的でパワフル、校内は活気にあふれています。先生方も、そんな生徒たちに寄り添い支えています。また、本校では毎年ボランティアの生徒による廊下の壁面塗装、ワックス塗布が行われます。本当に多くの生徒が参加し、校舎を美しく保っています。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

私自身、学生の頃に感じたことでもあります。福島県の教育が抱える課題はまだまだ多いと言われていています。これから中学校に入学してくる「震災当時」を知らない子どもが、それらの課題を乗り越え、たくましく成長していけるように、校内外で寄り添い、サポートできる教師になることが、これからの目標です。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

素直で元気な子どもたちのために一緒に頑張りましょう！

新任教員から
Message

中学校教諭 Junior high school

子どもたちがさまざまな課題を乗り越え
たくましく成長していけるよう
寄り添いサポートしていきたい。

My step!



会津若松市立第四中学校
教諭(国語) 大友 優輝

◎福島県の教員を志願した理由は？

私が小学校5年生の時、東日本大震災が起きました。さまざまな活動が制限される中で、当時の担任の先生が、私たちのために尽力してくださいました。その姿を見て、私もいつか同じように「福島県の子どもたちのために働きたい!」と思うようになり、福島県の教員を志願しました。

◎教員という仕事の魅力は？

生徒たちの成長を間近で見られることだと思います。教員として働き始めてからの短い期間



福島県では、急激な社会の変化の中で、「自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる児童生徒」を育成するために、学びの変革※1を実現できる次のような教員を求めています。

※1 学びの変革とは
全ての子どもに必要な力を育成するため、一方通行の画一的な授業から、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革すること



います。自分では気付かなかったことを生徒が教えてくれたり、自分の力不足を痛感したりすることもあります。それでも、生徒の成長と共に自分も成長することができるのが、大きな魅力だと感じています。

◎子どもたちとの関わりを通して喜びを感じた瞬間は？

授業中や実習中に、「楽しかった！」や「わかった！」と言って、生徒たちの目がキラキラしているときに喜びを感じます。農業科では、1年を通してさまざまな農作物を栽培する学習に取り組んでおり、それらを一生懸命管理する姿やうれしそうに収穫する姿を見かけると、私も元気をもらえます。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

文理・農業・商業の大学科を併せもつ県内唯一の学校です。各学科において、特色ある体験的な活動・地域との連携を通して、社会や地域に貢献できる人材を育成しています。また、勤務校はホッケーが盛んな地域にあり、町を挙げて競技に取り組み、全国選抜大会に出場するなど活躍しています。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

自分が生まれ育った福島で、生徒と一緒に農業を勉強できることにやりがいを感じています。福島県は、浜通り、中通り、会津と、地方ごとに自然条件を生かしたさまざまな作物が栽培されています。福島県の農業の奥深い魅力を伝えられる教師となるため、私自身がこれからも生徒と共に学び続けていきたいです。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

これからの福島を担う子どもたちのために一緒に頑張りましょう！

新任教員から Message 高等学校教諭 Senior high school

福島の農業の奥深い魅力を伝えられるよう
私自身がこれからも
生徒と共に学び続けていきたい。

My step!



福島県立修明高等学校 教諭(農業科) 小林 彩花

◎福島県の教員を志願した理由は？

私は、農業の楽しさや面白さを生徒に伝えたいと思い教員を志望しました。本県では、東日本大震災や少子高齢化に伴い、農業の担い手が不足しています。私は農業が好きで、高校から大学まで福島の地で農業を専門的に学んできました。これらの経験を生かし、生徒に農業の魅力伝えていきたいです。

◎教員という仕事の魅力は？

生徒の成長に携われることが魅力です。私は、生徒からたくさんの事を学ばせてもらって



「福島らしさ」※2をいかした多様性を力に変える教育と、福島で学び福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を実践する教員

※2 「福島らしさ」とは

- 「はま・なか・あいづ」に代表される広い県土だからこそその多様性、それぞれの地域の文化と歴史、豊かな自然環境といった独自性
- 人と人の触れ合いや支え合いの精神など、人々の温かさや絆が息づいている県民性
- 東日本大震災及び原子力災害によって他の地域よりも複雑で多くの課題を抱える中で、地域等の人々が手を取り合って果敢に挑戦を続けていること



じます。言葉がけや動きかけが、生徒の学びや楽しい思い出につながります。研修でも、生徒の特性や場面にに応じて、その時々で言葉がけの仕方を工夫することなど、臨機応変に対応することの大切さについて学んでいます。

◎子どもたちとの関わりを通して喜びを感じた瞬間は？

言葉で表現することが難しい生徒の思いを汲み取ることができた時です。初めは、生徒の思いに気付けないことがありましたが、研修や関わり合いを重ねることで、生徒の些細な行動に注視して、多角的・多面的に分析したり、他の教員と情報を共有したりすることで、お互いに意思疎通ができるようになりました。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

学校周辺は、とても自然豊かです。その中で朝の運動をするなどして、体力の向上を図っています。小・中・高の3学部で行う全校朝の会などで、学部間の交流があるのも良いことです。また、今年で創立50周年を迎え、記念公演や式典を実施するなど、教職員と全校生が一丸となって祝うことができました。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

試行錯誤しながら指導を行った生徒の頑張る姿や成長した姿を見た時にやりがいを感じます。素敵な生徒たちの未来をより良くしていけるよう、一人一人に寄り添い、今何が必要なのかを的確に見極めて、適切な指導ができる教員を目指します。また、保健体育の教員として、体を動かすことの楽しさを伝えていきたいです。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

今を楽しみながら、自分らしく頑張りましょう！！

新任教員から
Message

特別支援学校教諭 Special-needs education school

生徒の特性や場面に応じて
その時々で言葉がけの仕方を工夫するなど
臨機応変な対応を学んでいます。

My step!



福島県立西郷支援学校
教諭(保健体育) 平子 絢菜

◎福島県の教員を志願した理由は？

高校時代に、同じ校舎内に開校したいわき支援学校くぼた校の生徒とふれ合う機会があり、一緒にさまざまな活動を経験しました。このことを通して、私は将来、特別支援学校の教員として、交流及び共同学習に力を入れ、「多様性に寛容で差別のない共に助け合う地域社会づくり」を、生徒と共に目指していきたいと考えたからです。

◎教員という仕事の魅力は？

教員として、生徒の人生で一度しかない学校生活と一緒につくっていけるところに魅力を感じ



高い倫理観と教育に対する情熱・使命感を持ち、 児童生徒に伴走しながら学び続ける教員



有し、いろいろな活動を一緒に経験することで、活力あふれる毎日を送ることができます。そんなところが、他の職業では味わうことのできない、教員の魅力の一つだと思います。

◎子どもたちとの関わりを通して喜びを感じた瞬間は？

養護教諭という、病気やケガなどの手当てを想像されるかもしれませんが、しかし、発育測定を通して体の成長を喜び合ったり、悩みの相談をしているうちに子どもが自分自身の心の成長に気が付いたり、うれしい出来事もたくさんあります。子どもたちの日々の成長こそ、わたしの喜びであり生きがいです。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

高台に位置する南向台地区には、いつも明るい日差しが降り注ぎ、さわやかな風が吹いています。毎日笑顔で元気いっぱい「みなみっ子」は、地域の顔でもあります。また、地域の方に学ぶ授業では、伝統である^{みねやま}峯山太鼓や地域学習に取り組み、子どもたちが伝統文化をしっかりと引き継いでいます。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

多様な現代社会の中で、互いを認め合いながら生活している子どもたち。一人一人の課題と向き合い、サポートすることにやりがいを感じています。社会全体の幸せである「^{ウェルビーイング}Well-being」の実現に向けて、子どもたちの心や体の発達を支え、日々の仕事や研修に励んでいきたいと思えます。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

福島の子どもたちと一緒に、生き生きとした日々を送りましょう。

新任教員から
Message

養護教諭 Nursing teacher

一人一人の課題と向き合いながら
子どもたちの心と体の発達を支え、
日々の仕事や研修に励んでいきたい。

My step!



福島市立南向台小学校
養護教諭 大内 千秋

◎福島県の教員を志願した理由は？

わたしは以前、看護師として病院で勤務していました。働いているうちに、大人になってからの健康は、子どもの頃にどのような生活を送るかということがとても大事だと思うようになりました。柔軟な子どものうちに、健康の大切さや自分の命の大切さについて伝えたいと思い、養護教諭を志しました。

◎教員という仕事の魅力は？

日々さまざまな出来事があり、一日として同じ日はありません。子どもたちと喜怒哀楽を共



心身共に健康で、自らの強みや指導力をいかし、 チームとして多様化・複雑化する教育ニーズに対応する教員



徒たちには無限の可能性がります。障がいがあっても、支援の方法を変えるだけでできるようになることがたくさんあります。授業づくりや支援方法など、悩むこともあります、生徒たちの日々の成長に大きなやりがいを感じています。

◎子どもたちとの関わりを通して喜びを感じた瞬間は？

授業の中で、生徒の「わかった」、「楽しい」という声が聞かれた時や、できなかったことができるようになった時です。生徒が私との関わりを通して成長していく姿を見ることが、教員として喜びを感じる瞬間です。生徒が自分の課題を克服することは成功体験となり、社会参加への大きな力となるはずで。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

視覚支援学校には、幅広い年齢層の成人が学ぶ、職業課程の専攻科理療科があり、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の国家資格取得を目指す生徒たちが在籍しています。社会経験豊かな生徒たちを学習面・心理面で支える理療科の先生方の高い指導力や専門性、生徒を引き付ける人柄が、私にとって魅力であり自慢です。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

私自身、視覚に障がいがあります。障がいのある教員として生徒のロールモデルとなれるよう心がけています。障がいがあっても工夫次第でできること、人から信頼される仕事をするを実践し、生徒に伝えたいと思います。特別支援学校での経験を通して、自信をもって社会へ進むことができるような指導を目指しています。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

福島の子どものために、未来の福島のために一緒に頑張りましょう！

新任教員から
Message

合理的配慮の申請による合格者

**生徒たちには無限の可能性があり、
支援の方法を変えるだけで
できるようになることがたくさんあります。**

My step!



福島県立視覚支援学校
教諭(高等部・専攻科理療科) **大西 正晃**

◎福島県の教員を志願した理由は？

私は令和4年度まで、2年間専攻科理療科の講師として福島県の教育に携って来ました。そこで感じたのは生徒たちの力強さです。日々、目標へとチャレンジする中で、さまざまなことを吸収する姿に大きな可能性を感じました。福島未来を担う生徒たちと関わり、共に成長したいという思いで、福島県の教員を志願しました。

◎教員という仕事の魅力は？

時に笑い、時に悩みながら、生徒と時間を共有し共に成長できることが魅力の一つです。生

共に、新たな未来を。

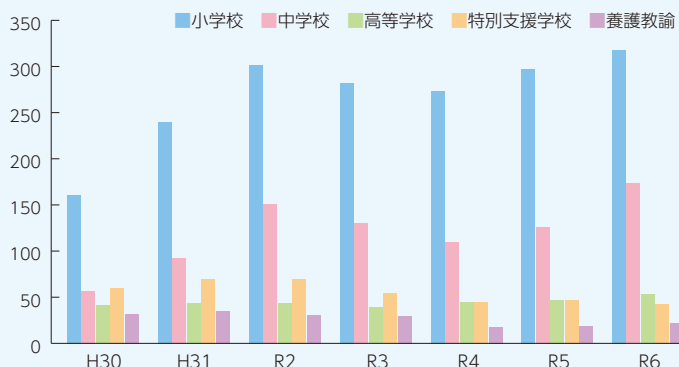
Together

たくさんの出会いが待っている学校生活。
あなたもふくしまで先生を目指してみませんか。

出願から採用までのスケジュール



合格者数実績



志願者・受験者・合格者・倍率 (令和5年度実施)

	志願者数	受験者数	合格者数	倍率 (受験者数/合格者数)
小学校	405	391	318	1.2
中学校	612	594	173	3.4
高等学校	432	415	53	7.8
特別支援学校	149	145	43	3.4
養護教諭	181	175	22	8.0
合計	1,779	1,720	609	2.8

問合せ先

福島県教育庁

〒960-8688 福島市杉妻町2-16

義務教育課 教員採用担当 TEL024-521-7761
高校教育課 教員採用担当 TEL024-521-7770
特別支援教育課 教員採用担当 TEL024-521-7765

X(旧Twitter)でも教員採用の情報を発信しています。
「福島県教員採用」で検索してください。
義務教育課HPにリンクを掲載しています。